

平成28年度 第2回 石巻南浜津波復興祈念公園有識者委員会の概要

【平成29年度 第1回 石巻南浜津波復興祈念公園有識者委員会 資料】

平成29年12月15日

○平成28年度 第2回 石巻南浜津波復興祈念公園有識者委員会

【開催日時】 平成29年3月14日(木) 15:00～17:00

【会場】 石巻グランドホテル 天翔の間

【議事】 (1)第1回委員会の概要について
(2)参加型維持管理運営検討協議会について
(3)石巻市における震災伝承及び震災遺構に関する検討状況について
(4)空間デザインについて

○委員名簿

委員長	涌井 史郎 (東京都市大学環境学部教授)	
副委員長	森山 雅幸 (宮城大学特任教授)	
委員	牛尾 陽子 (公益財団法人東北活性化研究センターフェロー)	
委員	岸井 隆幸 (日本大学理工学部教授)	ご欠席
委員	中静 透 (東北大学大学院生命科学研究科教授)	ご欠席
委員	舟引 敏明 (宮城大学事業構想学部教授)	ご欠席
委員	亀山 紘 (石巻市長)	
委員	遠藤 信哉 (宮城県土木部長)	
	(代理 土木部次長 櫻井 雅之)	

※敬称略



第2回委員会の様子

○中核的施設について

ご意見	対応状況
○【森山副委員長】 作品性だけではなく、この公園の理念を大切に、周囲に調和し、使う人のニーズに合致するものとしていただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県と石巻市の震災伝承のあり方検討や公園に係わる活動団体等の意見を参考としながら検討中。
○【涌井委員長】 市や県が伝承していくものと、この施設のあり方にそごや重複がないよう、共同のテーブルを持って整理してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 月1回の連絡調整会議を実施し、都度確認を行っている。
○【涌井委員長】 国際的な対応も必要となるので、言葉、国柄を超えたユニバーサルデザイン施設であるという点に腐心していただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> 誘導、記名、説明、規制、案内等の情報や施設利用に関するユニバーサルデザインのあり方を検討中。

※本委員会資料-4参照

○空間デザインについて

ご意見	対応状況
○【森山副委員長】 命、安らぎが大事なコンセプト。車と人の動線の安全性、公園全体のバリアフリー、水辺の安全性に十分配慮してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 国土交通省の「都市公園の移動円滑化整備ガイドライン」や宮城県の「だれもが住みよい福祉のまちづくり条例」等の基準に準拠し安全性に配慮している。 車両動線を明確にし、歩車道分離縁石や柵等の工作物を配置する。
○【森山副委員長】 公園内の名称のアイデアは良い。市民の方からもご意見を聞いて決めていただけると良いのではないか。	<ul style="list-style-type: none"> 参加型維持管理運営検討協議会等を通じて、公園内の名称について意見を伺う。

※本委員会資料-4参照

○空間デザインについて

ご意見	対応状況
○【森山副委員長】 祈りの場にともし火があると、温かさを感じられる。このような場には火というものが非常にふさわしいのではないかと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ともし火点火の意味合いや、祈りの場面、献花台との関係性、中核的施設との関係性等に留意し、空間デザインを検討中。
○【櫻井委員代理】 ともし火が有るのと無いのでは全然イメージが違う。ともし火を置けるよう配慮いただければと思う。	
○【涌井委員長】 ともし火を置くことは賛成だが、常時火をともしることが良いかは、地域の皆さんともしっかり議論をして進めていくべきではないか。	
○【牛尾委員】 碑像等の受け入れには一定のルールづくりが必要。維持管理など地元の負担が少なくなるように、寄贈いただく方にも配慮していただけるような形になれば良いのではないか。	<ul style="list-style-type: none"> 碑像や献木等の受け入れルールを検討中。
○【櫻井委員代理】 池の浮島は、かつての道路の交差点部分だということがしっかりイメージできるよう、もう少しデザインを検討いただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ともし火や献花台と合わせ、祈りの場の空間構成要素として検討中。
○【涌井委員長】 静砂垣は機能だけではなく、その見え方も考慮し、検討いただきたい。具体の整備を市民の方々と一緒にやるのか、プロがやるのか、整備の方法も十分ご検討いただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> 景観面、コスト、耐久性等を考慮しながら、造成工事と一連で整備を行う。
○【牛尾委員】 サインが全てを壊してしまうという例も多いので、今後はサイン計画、サインデザインについても情報を提供いただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> 統一のデザインやルールで整備されるよう協議・調整を進める。
○【涌井委員長】 サイン計画は大切な要素。国と県と市でばらばらな水準にならないように、統一するというのも重要な論点になると思う。	

※本委員会資料-4参照

○参加型維持管理運営検討協議会について

ご意見	対応状況
○【櫻井委員代理】 これから趣旨に賛同して参加される方も含めて、開かれた形でこの活動を育てていっていただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度から協議会を継続し、活動内容今後のあり方を検討中。
○【涌井委員長】 管理運営サイドと利用者とが連携して上手に公園をマネジメントしている先例もある。この公園でも協議会に参加されているような団体を大切にして、より良い方向に進化するよう、検討を進めていただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> 活動団体等と連携した管理運営のあり方を検討中。

※本委員会資料-5・資料-8参照

○震災伝承及び震災遺構に関する検討状況について

ご意見	対応状況
○【涌井委員長】 公園での伝承の仕掛けとしてどういうものを設置していくのか、市で検討しているものと重複しないよう、十分検討するべき。	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県や石巻市の施策や伝承活動団体の皆様の意向を参考としながら、復興祈念公園における伝承のあり方を検討中。
○【亀山委員】 復興祈念公園と門脇小学校とを一体としてすみ分けしながら整備していきたい。大川小学校も含めこれらをどういうふうにつないで、伝承していくかということがこれからの大きな課題だと思っている。	
○【涌井委員長】 石巻全体をオープンエアミュージアムと考え、それぞれの施設がそれぞれ個性を持って、しっかりとしたストーリーでつながれているというふうになれば良いのではないか。	

※本委員会資料-6・資料-7参照